

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4年次生 藤坂 彩佳

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受け、2019年8月11日から25日までの2週間、カナダのバンクーバーに語学留学しましたので報告させていただきます。

マルチカルチャーの国であるカナダで様々な国のの人たちと話し異文化に触れ、英会話の実践的な学習だけでなく、さらに自分の視野を広げることを目標としました。

2. 語学学校

滞在中は iTTTi VANCOUVER という語学学校に通いました。私は一般英語コースのモーニングクラス(午前授業のみ)を選択し、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学びました。

登校初日に行われたテストの結果により自分のレベルに合ったクラスに入りました。各クラスの学生は約10名程度で、私のクラスには、日本人以外に韓国人、中国人、メキシコ人、コロンビア人の学生がいました。

校内では、いつ誰と話す場合も英語で話さなければならないという規則が徹底しており、初めは窮屈さも感じましたが、自分の意思をなんとか英語で伝える訓練としてとても貴重な時間となりました。

3. ホームステイ

語学学校から電車とバスで45分程の場所に位置するお宅に滞在させていただきました。家族構成はホストファザー、ホストマザー、24歳の娘さん、19歳の息子さんとなり、犬と猫を飼っておられてとても賑やかなご家庭でした。また、他国の留学生としてベトナム人の学生も滞在していました。

学校から帰ってからは、ホストファザーと犬の散歩をしながらその街のことをたくさん教えていただきました。それから家族みんなでご飯を作って食べたり、ドライブに行ったり、テレビで映画を観たりするなど、本当に楽しい時間を過ごしながら英語を学ぶことができました。

4. 現地での生活

授業は朝9時から11時45分までの2コマを受講しました。昼食をとった後、学校の近くにある市立図書館で課題やテスト勉強に取り組みました。昼食は毎日ホストファザー、ホストマザーが朝食の時間に用意してくださいました。放課後は主に学校の友達とバンクーバー市内を観光したり、買い物に行ったりしました。8月でしたが気候は

日本の夏よりも涼しく、屋外でも過ごしやすかったです。



5. アクティビティ・観光

学校が主催する放課後のアクティビティに参加したり、休日には現地で出会った友達と出かけたりしました。学校のアクティビティとしては、グランビルアイランドという市場の観光やバーベキューに参加し、休日はフェリーに乗ってビクトリアを訪れたり、キャピラノサスペンションブリッジに行ったりもしました。午前の授業だけを選択したので、午後はバンクーバー市内をたくさん見て回りました。科学博物館、スタンレーパーク、水族館などを訪れ、とても充実した時間を過ごすことができました。



6. おわりに

短い期間ではありましたが、これからの私の人生に生かしていきたいと思える発見がたくさんありました。語学学校、ホームステイ先、街中において常に感じたのは、自分の意思を伝えることの大切さです。少なくともカナダには、日本人の言う「空気を読む」といった概念がなく、みんなが言葉で自分の気持ちを伝えていました。正しいか、正しくないかが一番重要な点ではなく、自分がどう思っているのかが意味を持つのだと痛感しました。語学学校で、自分の意見を次々と声に出すクラスメイトたちの姿勢が私にとって大きな刺激になりました。初めは緊張もあり、相手の言っていることが理解できないと、戸惑うばかりで言葉がつまってしまいました。また、私は間違った英語を話すのが恥ずかしいと思っていましたが、その考えが人と話すチャンスを失っているのだと気づきました。分からないということを伝えれば、相手は言い方を変えるなどして私が理解できるようにしてくれました。英会話を学ぶ上では、とにかく声を出すことが重要であり、それが人との新しいつながりを生むということにも気づきました。

カナダで得た新しい出会いや発見から、自分の視野を少し広げられたような気がし

ます。そして、自分の性格や考え方、今後の生き方についても深く考える本当に良い機会になりました。

今回の留学にあたり、手厚い支援をしていただいた国際交流基金助成事業に感謝申し上げます。ありがとうございました。

